

2026年度 学位申請に関する ガイダンス資料

神戸大学医学部学務課
大学院教務学生係
2026年08月28日

目次

1. 学位申請の前に	p3
2. 学位申請の手順	p4
3. 学位申請の必要書類について	p5.6
4. 電子データ送付時の注意事項, PDF/Aファイルの作り方	p7.8
5. 論文題目について	p9
6. 単位認定報告書（記入例）	p10
7. 学位論文審査願（記入例）	p11
8. 論文目録（記入例）	p12
9. 履歴書（記入例）	p13.14
10. 学位論文表紙（記入例）	p15
11. 学位論文の内容要旨（記入例）	p16
12. 博士論文全文のインターネットの利用により公表することについて	p17
13. Online版に掲載されない場合確認書（記入例）	p18
14. Online版に掲載されない場合博士論文全文の公表延期申請書(新規)	p19
15. Online版に掲載されない場合博士論文全文の非公表申請書	p20
16. Online版に掲載されない場合博士論文全文の公表延期理由解消申請書	p21
17. 承諾書（記入例）	p22
18. 理由書（記入例）	p23
19. 論文チェックソフトによる確認報告書（記入例）	p24
20. 学位記データ登録用カード（記入例）	p25
21. 令和8年度学位論文審査に係る研究発表会の日程について	p26.27
22. 早期修了について	p28.29.30
23. 遡り修了について	p31.32.33
24. 「eLife」等に掲載された論文の取り扱いについて	p34

- 全ての様式は下記URLからダウンロードできます。
- <https://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/GAKUI/ronbun-download.htm>

学位申請の前に ※順序厳守1.➡2.➡3.➡4.

1. 学位申請に関するガイダンス資料を読む

必要があればご自身で印刷願います。



2. 修得単位数の確認、大学の登録情報の確認

大学院教務学生係の窓口まで申請者ご本人が確認に来てください。
修得単位数の確認は対面のみとなります。

※ 大学の登録情報（現住所、勤務先）の変更について、入学時から未手続きの場合は必ず変更手続きを行ってください。



3. 単位修得認定報告書の提出

「単位修得認定報告書」を大学院教務 学生係へ提出してください。

※専攻科目・選択科目の評価年月日が履歴書作成時に必要になります。提出前に必ず自身で記録しておいてください。

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/DRC/drc-download.htm>

◇◆◇ 単位修得認定報告書提出期限 ◇◆◇

2026年9月修了：〆切 2026年 5月20日

2027年3月修了：〆切 2026年11月20日

※上記期限を過ぎた場合でも提出は可能ですので大学院教務学生係までご相談ください。



4. 提出書類の作成

◇◆◇ ガイダンス資料の例を参考に資料を作成 ◇◆◇

学位申請書類に不備がある場合、受付できません。

*休学について

休学期間中は「単位認定報告書の提出」及び「学位申請」はできませんので、復学後に行ってください。復学日は「4月1日」、「10月1日」のみです。

学位申請の手順（甲号 課程博士）

1. 学位申請

学位申請書類一式を大学院教務学生係へ提出してください。
申請書類一式のフォームは下記URLからダウンロードできます。

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/GAKUI/ronbun-download.htm>

◆申請期限◆

- ・ 2026年9月修了の場合
2026年7月21日までに学位申請し、8月20日までに研究発表会を終えること。
- ・ 2027年3月修了の場合
2027年1月20日までに学位申請し、2月18日までに研究発表会を終えること。

※上記期限を過ぎる場合は、大学院教務学生係に相談してください。

2. 研究発表会

医学研究科教授会で審査委員および研究発表会の日程が確定します。研究発表会は発表（10分）および審査委員による試問（10分）を行います。

「令和8年度学位論文審査に係る研究発表会の日程」は26頁参照。

3. 修了判定

研究発表会翌月の医学研究科教授会にて最終結果判定を行い、課程修了及び学位授与を決定します。判定結果は医学研究科教授会以降に、下記URLにて公表します。

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/gakui-juyo/gakui-juyo.htm>

4. 進路等調査票の提出

修了予定者は、学位申請後に大学院教務学生係から送付される所定の進路等調査票にご入力の上、メールにて必ずご提出ください。

学位論文申請者の提出書類について

	必要書類	必要部数
1	学位論文審査願 (11頁参照) ・氏名は必ず署名（手書き）する	2通 (内 1 通は写し)
2	論文目録 (9.12頁参照) ・論文題目が英文の場合 和訳を必ず記載し、英文は大文字、小文字の記載誤り及び一字一句間違いのないようにする	2通 (内 1 通は写し)
3	履歴書 (13.14頁参照) ※ 書き漏れや、間違いが多いため必ず見本を確認し、作成してください。 ・履歴書を片面印刷し、提出	2通 (内 1 通は写し)
4	学位論文 ・論文題目が英文の場合 和訳を必ず記載し、英文は大文字、小文字の記載誤り及び一字一句間違いのないようにする ・PDF形式(表紙含む)で大学院教務学生係に学位申請日前日までに送付 ・PDFは指定の形式【PDF/A(ISO19005)】にて作成	● 1部 (表紙含む・ホッチキス止め) ●メール送付 PDF/A形式
5	参考論文 (必要な場合) ・学位申請にあたって参考にした申請者自身の論文があればPDF形式(表紙含む)で大学院教務学生係に学位申請日前日までに送付 ・PDFは指定の形式【PDF/A(ISO19005)】にて作成	1部
6	学位論文の内容要旨 (16頁参照) ・表紙は「見本」を参照 ・原則日本語で作成し、2000字から4000字に要約 ※外国人留学生については英語で作成可能 ・PDF形式(表紙含む)で大学院教務学生係に学位申請日前日までに送付 ・PDFは指定の形式【PDF/A(ISO19005)】にて作成	● 1部 (表紙含む・ホッチキス止め) ●メール送付 PDF/A形式
7	確認書 (Online版に掲載されない場合のみ提出)(17～20頁参照) ・平成25年4月の学位規定改正により博士の学位を授与された者は、学位を授与された日から1年以内に博士論文の全文をインターネット（神戸大学学術リポジトリ）に公表することになりました。 ・非公表・公表延期の場合は、申請書の提出が必要	1部

学位論文申請者の提出書類について

	必要書類	必要部数
8	承諾書 (22頁参照) ・申請者が博士論文として提出すること及びインターネット利用により公表することについて、共著者全員の承諾の署名(手書き)と押印した承諾書を提出(原本でなくてもよい)	1 通
9	理由書 (23頁参照) ・共著者が4名以上(学位申請者本人を含む)の場合に指導教員が作成、押印した理由書を提出 ・見本を参照し4名以上に及んだ理由を記入	1 通
10	受理証明書 ・論文が未公表の場合は、掲載予定の学術誌等の巻、号(年、月)明記の受理証明書かまたは、雑誌より送付される「受理されました」という内容のメールの写しを提出	1 通
11	論文チェックソフトによる確認報告書 (24頁参照) ・論文チェックソフトを使用し、盗用がないか指導教員等(本研究科教員)が確認し、作成した報告書 ・指導教員等(本研究科教員)から大学院教務学生係へチェックソフト使用を申請 ・大学院教務担当者からチェックソフトのURL、ID、PWを指導教員等へ送付します	1通
12	学位記データカード (25頁参照) ・学位申請時に紙媒体で1通提出(学位記作成時氏名等原稿) ・氏名は漢字、英字、ともに履歴書と同じ表記 ・学位申請前日までに論文と内容要旨と一緒にメールで送付	1 通 (メール送付) Excel形式
13	課程博士にかかる論文審査協力教員の推薦及び研究発表会の日程調整について (26.27頁参照) ・審査委員を指導教員と相談の上3名決め、3名の審査委員の都合のいい日程、時間を申請者本人が調整し提出 ・日時については、できる限り多くの候補をあげる	2通 (内 1 通は写し)
14	パスポートの写し (外国人留学生のみ提出) ・氏名の英字表記のあるページの写しを提出	1通

電子データ送付時の注意事項

以下の書類は書面（紙媒体）での提出とあわせて、電子データでの提出もお願いいたします。

メールアドレス：kobegsm@med.kobe-u.ac.jp

必要書類	部数	件名	ファイル名
学位論文	1	学位申請者氏名	PDF/A形式 甲_学籍番号_氏名_医学(学位論文)*1
内容要旨	1	学位申請者氏名	PDF/A形式 甲_学籍番号_氏名_医学(内容要旨)*2
学位記データ	1	学位申請者氏名	Excel形式 甲_学籍番号_氏名_医学(学位記データカード)*3

- *1 論文博士の場合 乙_氏名_医学(学位論文)
 *2 論文博士の場合 乙_氏名_医学(内容要旨)
 *3 論文博士の場合 乙_氏名_医学(学位記データ)

以下の内容をメールで確認する場合は下記の要領で提出してください。

依頼内容	メールアドレス	件名	ファイル名
参考論文がある場合	kobegsm@med.kobe-u.ac.jp	学位申請者氏名	PDF形式 「氏名_参考論文」
論文チェック ソフト使用依頼*3	kobegsm-1@med.kobe-u.ac.jp	学位申請者氏名	

***3 必ず指導教員を通じて、大学院学生係へ使用依頼を行ってください。**

本学では博士論文の剽窃チェックを指導教員が行うことになっています。

- 所定の様式は下記URLからダウンロードできます。
- <https://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/GAKUI/ronbun-download.htm>

PDF/A ファイルの作り方

■ 変換方法

1. Adobe® Acrobat Pro でPDFをPDF/Aへ変換 (Windows)

参考 URL) <https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/using/pdf-x-pdf-a-pdf.html>

- 1) Acrobat Proで、「その他の形式で保存」を選択します。
- 2) 「長期保管用PDF(PDF/A)」を選択します。
- 3) ファイル名を入力して、「保存」をクリックします。また、[ファイル]メニューの[書き出し]中に「PDF/A」があれば、そこから書き出すことも出来ます。

※MacOS の場合

Word で通常の PDF で保存した後に、Adobe Acrobat Pro で PDF/A に変換してください。

2. Word ファイルを PDF/A へ変換

(Windows 版 Office 2010 以降のバージョン)

- 1) [ファイル]→[エクスポート]→[PDF/XPSドキュメント の作成]→[PDF/XPSの作成]の順にクリックします。
- 2) [オプション]中の[PDF のオプション] [PDF/A準拠]にチェックを入れ[OK]をクリックします。
- 3) [発行]をクリックすると、PDF/A形式のPDFが作成・保存されます。

3. 一太郎ファイルをPDF/A へ変換

参考 URL) [https://support.justsystems.com/faq/1032/app/servlet/qadoc?](https://support.justsystems.com/faq/1032/app/servlet/qadoc?QID=053226)

QID=053226

論文題目について

- ・ 論文本体（データ）の論文題目及び各提出書類（論文目録、承諾書、学位論文の内容の要旨、確認書（提出する場合のみ）、学位論文チェックソフトによる確認報告書（指導教員作成）、及び学位記データカード（Excel））に記載されている論文題目の表記の仕方は必ず一字一句違わず一致するようにしてください。
- ・ 論文題目が英文の場合は、必ず和訳を付してください。
※ 英文で論文題目が記載されている全ての提出書類において、論文題目の和訳の記載が必須です。
- ・ 学位審査終了後に審査委員が提出する学位論文審査結果報告書及び学位論文審査結果の要旨についても論文題目の表記の誤りがあれば再作成となりますのでご注意ください。

【よくある間違い】

- ・ 英文題目のあとに**和訳**が付いていない。
 - ・ **複数形のsの有無**が書類によって統一されていない。
 - ・ 英文題目中の**大文字／小文字**の表記方法が書類によって統一されていない。
- 例えば、論文審査結果報告書では「Offshore **w**ind **r**esource **a**ssessment using **s**ynthetic **a**perture **r**adar and **m**eteorological **m**esoscale **m**odel」（先頭の単語の頭文字のみ大文字となっている）が、論文内容の要旨では「Offshore **W**ind **R**esource **A**ssessment using **S**ynthetic **A**perture **R**adar and **M**eteorological **M**esoscale **M**odels」（各単語の頭文字がそれぞれ大文字となっている、**Models**というように複数形のsがついている）などの場合です。

※題目そのものについて大文字／小文字をどのように使用して表記するかは各研究科や論文を発表する学会のルールに則っていただいて構いません。その他、誤字・脱字の無いよう、十分にご確認ください。

単位修得認定報告書

神戸大学大学院医学研究科医学専攻

所属分野	〇〇〇〇学	学籍番号	〇〇〇〇〇〇〇〇	氏名	〇〇 〇〇	入学年月日	〇〇〇〇年〇〇月 1日
履修プログラム 研究者育成プログラム(シングルメジャー)(2017年以降入学者用)							
区分	専攻科目 I : 〇〇〇〇学						
科目名	特別研究 I	特別研究 II		演習		特別研究 I	演習
単位数	履修届に記入した分野の代表者(教授等)に評価方法、評価区分、評価年月日を記入してもらい、評価者欄に署名、認定印						
合計単位数							
評価方法	筆記試験 ・ 口答試験 ・ 研究報告			筆記試験 ・ 口答試験 研究報告			
評価区分	秀 ・ 優 ・ 良 ・ 可	秀 ・ 優 ・ 良 ・ 可	秀 ・ 優 ・ 良 ・ 可	秀 ・ 優 ・ 良 ・ 可	秀 ・ 優 ・ 良 ・ 可	秀 ・ 優 ・ 良 ・ 可	可
評価年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日						
評価者 (分野代表者)	〇〇 〇〇			印		〇〇 〇〇	
他大学大学院等における履修単位(専攻科目 I・II の別、講義・実験実習等の別、単位数、履修先、時期等を記入)							
共通基礎科目(コア実習)	1単位	評価区分		秀 ・ 優 ・ 良 ・ 可		評価印 (分野代表者)	
						印	

学務課 記入欄	科目名	必要単位数	修得単位数
	共通基礎科目(コア講義)	1単位	単位
	医学研究先端講義 ※3単位以上必要	6単位	先端医学シリーズ 単位
	大学院特別講義(注) ※2単位以上必要		先端医学トピックス 単位
	共通科目単位認定日		年 月 日

所属分野の代表者(教授等)に評価区分を記入してもらい、評価印欄に認定印をもらってください。

- (注)対象外科目
- ・がんプロ共通特論 I
 - ・がんプロ共通特論 II
 - ・リサーチプロポージャー
 - ・ラボ・ローテーション

※書類を提出する日

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

医 学 研 究 科 長 殿

学籍番号 000M00M

氏 名 〇〇 〇〇

※氏名は署名（手書き）

学 位 論 文 審 査 願

神戸大学学位規程第7条の規定により下記の書類を提出いたしますから審査をお願いします。

記

学 位 論 文 1 通

論 文 目 録 2 通

※書類を提出する日

年 月 日

論 文 目 録

氏 名 ○○ ○○

※氏名は署名(手書き)でなくてもよい

論 文

1. 題 目

※題目が英文の場合は必ず和訳をつけ、英文は大文字・小文字の記載誤りに注意。
一字一句間違いが無いか確認する

Angiotensin II type 1 receptor-mediated activation of *Ras* in
cultured rat vascular smooth muscle cells

培養ラット血管平滑筋細胞におけるアンジオテンシンⅡタイプ
1 受容体を介した *Ras* の活性化

2. 印刷公表の雑誌名等及び時期

雑誌名等 ○○○○○○○○

時 期 ○○○○年 ○○月 (○○巻 ○○号)

※公表時期が未定の場合は「未定」と記入してください。

3. 冊 数 1 冊

参 考 論 文

※参考論文がある場合のみ記入

1. 題 目

2. 冊 数 冊

(記入例)

学位記(和文)の氏名になるため学位記に特殊な漢字で記名を希望する場合、その漢字を大きくはっきり記入。(高、崎、辻など)
留学生は学籍登録(=パスポート)通りとし、全て大文字で記入。

①・乙第

号

履 歴 書

甲に○を
する。

ふりがな 氏 名 (和文学位記用表記)	こうべ たろう 神戸 太郎	昭和 平成 ○○年○○月○○日 生 (西暦○○○○年 生) 満○○歳	学位申請時の 年齢を記入	男 女
英文学位記用ローマ字表記氏名 (日本人の例) KOBE Taro ※姓・名の順で姓は大文字にする。	KOBE Taro			
本籍地(国籍)	兵 庫 都・道・府(県) 外国籍の方は国籍を記入			
現 住 所	6 5 0 - 0 0 1 7 電 話 (078) 382 - 5111 携帯電話 (000) 000 - 0000 Eメールアドレス kobetaro@ooooooo.com			
兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5番1号				
学歴・研究歴・職歴・賞罰について各項目別にまとめて記入のこと				
項 目	年・月・日	摘 要		
学歴	2007・3・31	兵庫県立○○高等学校卒業		
	2008・4・1	神戸大学医学部医学科入学		
	2014・3・10	同 卒業		
	2014・4・10	医籍登録番号第○○○○○○○号(第○○回医師国家試験合格)		
	2022・4・1	神戸大学大学院医学研究科(博士課程)入学(小児科学)		
休学・復学・分野 変更をした場合も 記入	2023・4・1	同 休学 (小児科学)		
	2023・10・1	同 復学 (小児科学)		
提出した「単位修 得認定報告書」の それぞれの科目名 及び、認定年月日 を時系列で記入	2026・10・10	専攻科目Ⅰ 小児科学 合格		
	2026・10・16	選択科目Ⅰ 消化器内科学 合格		
	2027・3・31	神戸大学大学院医学研究科(博士課程)単位修得退学(小児科学)		
	2027・3・25	神戸大学大学院医学研究科(博士課程)修了見込(小児科学)		

Eメールアドレスは
med.kobe-u.ac.jp
以外を記入。

<卒業日>

神戸大学医学部医学科卒業の方は卒業年により卒業日が異なります。

平成 16 年以前卒業 → 3 月 31 日

平成 17~22 年卒業 → 3 月 25 日

平成 23 年以降卒業 → 3 月 10 日

※他学部・他大学出身者も学位記や証明書
等で卒業日を確認

入学した当時の
分野名を記入

単位修得退学をし、遡り修了
する場合は、記入すること

- 修了見込は、9 月度修了の場合 9 月 25 日、3 月度修了の場合 3 月 25 日とする。
- 在学途中で分野名が変更した場合は、履歴書の「学歴」に記入。
- 学生登録上の住所と履歴書に記載の現住所が異なっている場合、「身上異動・住所変更届」を先に大学院教務学生係へ提出。
- 出身校(高校・大学)の正式名を略さず記載してください。
例: ○○高等学校を○○高校と入力しているケースがあります。

(記入例)

項 目	年・月・日	摘 要
職歴	2014・4・1	神戸大学医学部附属病院研修医に任用
	2016・3・31	同 修了
	2016・4・1	〇〇大学医学部附属病院 医員に任用
	2019・3・31	同 退職
	2019・4・1	神戸大学医学部附属病院 医員に任用され、現在に至る
【よくある問い合わせ】		
* 研修医・専攻医は「任用」と「修了」、フェロー、シニアレジデント等は「任用」と「退職」		
日本学術振興会（DC2）は「採用」と「期間満了」としてください。		
* 病院・職場の名称が変更になった場合は 例：〇〇病院（現 〇〇病院）と記載してください。		
* 通称名（旧姓）の使用を許可されている方 * ○ 通称名（旧姓）での学籍登録を許可されている場合は、 通称名使用許可書（写）を提出。 ○ 氏名は、戸籍上の姓の後に括弧をつけて（通称名の姓）その後 名の順で入力。 例） 神戸花子が戸籍上の氏名、六甲が通称名の姓の場合 神戸（六甲）花子 KOBE（ROKKO）Hanako となります。		
賞罰	・ ・	なし （※ 職歴・賞罰 ない場合は なし と入力。）
	・ ・	
上 記 の と お り 相 違 あ り ま せ ん 。 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 ← 書類を提出する日を記入 氏 名 氏名は手書きでなくてよい ※押印不要 ↓ 神 戸 太 郎		

- 備 考 学歴の記載について
1. 医学科出身者は、高等学校卒業後、医師国家試験合格（医籍登録番号を付記）に至るまでのことについて年次を追って記入すること。
 2. 医学科出身以外の者は、できるだけ詳細に年次を追って記入すること。

(甲)

忘れずに記載

※題目（英文）には必ず和訳をつけ、一字一句間違いが無いか確認する

Angiotensin II type 1 receptor-mediated activation of *Ras*
in cultured rat vascular smooth muscle cells

培養ラット血管平滑筋細胞におけるアンジオテンシンⅡタイプ1受容体
を介した *Ras* の活性化

筆頭著者（論文提出者）及び共著者全員の氏名



〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇, 〇〇 〇〇

神戸大学大学院医学研究科医科学専攻

← 学生の所属専攻名

〇 〇 〇 学

← 所属教育研究分野名

(指導教員：〇〇〇〇教授（客員教授・特命教授 等）)

← 指導教員名

〇 〇 〇 〇

← 論文提出者名（英文）

〇 〇 〇 〇

← 論文提出者名（和文）

※論文提出者名（英文）表記は、論文の著者名の表記にあわせる

Key words: Angiotensin, Receptor-mediated, Vascular



論文の内容をよく現すキーワードを10個以内選んで記入

記載漏れが多いので注意



(課程博士関係)

学 位 論 文 の 内 容 要 旨

※題目が英文の場合は必ず和訳をつけ、英文は大文字・小文字の記載誤りに注意。
一字一句間違いが無いか確認する

Angiotensin II type 1 receptor-mediated activation of Ras in cultured rat vascular smooth muscle cells

培養ラット血管平滑筋細胞におけるアンジオテンシンⅡタイプ1受容体
を介した Ras の活性化

(指導教員: 神戸大学大学院医学研究科医科学専攻〇〇〇〇教授 (客員教授・特命教授 等))

○ ○ ○ ○

← 論文提出者名

学位関係 <<博士論文提出者の方へ>>

博士論文提出者の方へ

神戸大学

従来、学位規則(昭和28年文部省令第9号)により博士の学位を授与された者は、学位を授与された日から1年以内に学位論文を印刷公表しなければならないとされていましたが、平成25年4月の学位規則改正により博士の学位を授与された者は、学位を授与された日から1年以内に博士論文の全文をインターネットの利用により公表することとなりました。

本学においては、神戸大学学位規程により博士論文の全文を神戸大学学術成果リポジトリの利用によりインターネットで公表することとしています。

ただし、以下のようなやむを得ない理由により1年を超えて、博士論文の全文をインターネットで公表出来ないと承認された場合は、原則として博士の学位を授与された日から2年間公表しません。

該当者は、「様式1 博士論文全文の公表延期申請書(新規)」を当該研究科へ申請願います。

さらに、承認された期間を超えて公表を延期するやむを得ない理由が生じた場合は、承認された期間内に改めて所定の様式により申請願います。

記

(やむを得ない理由)

- ① 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含む場合
- ② 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含む場合
- ③ 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の出願等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から1年を超えて生じる場合

(注意)

1. 博士論文全文のインターネットによる公表の延期を承認した場合でも、国立国会図書館及び神戸大学附属図書館において、博士論文の全文は閲覧に供されます。
2. 博士論文全文の公表延期を承認した期間を超えると、神戸大学学術成果リポジトリの利用によりインターネットで公表します。

※Online 版に掲載されない場合のみ提出が必要

確 認 書

私は、博士の学位を授与された日から3月以内に学位論文の内容の要旨を、1年以内に学位論文の全文をインターネット利用により公表することについて、以下のとおり確認しました。

(論文題目)

(英文) Angiotensin II type 1 receptor-mediated activation of *Ras* in cultured rat vascular smooth muscle cells

(和訳) 培養ラット血管平滑筋細胞におけるアンジオテンシンⅡタイプ1受容体を介した *Ras* の活性化

※ 論文題目が英文の場合は和訳を記載すること

確認した出版社等の名称: ○○○○

☒ 公表して差し支えない

☐ 公表することに差し支えがある。

(併せて「博士論文全文の公表延期申請書」又は「博士論文全文の非公表申請書」を提出してください。)

公表延期申請書・・・理由が「立体形状による表現を含む等」や「著作権保護、個人情報保護等」の場合

非公表申請書・・・理由が「出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等」の場合

(理由)

(例)○○社では、発表後○年間は、インターネット等による公表を認めていない。

○○○○年○○月○○日

氏 名 ○○ ○○

※Online 版に掲載されない場合のみ提出が必要

様式 1

年 月 日

医学研究科長 殿

(学籍番号)

氏 名

博士論文全文の公表延期申請書（新規）

学位が授与された場合、下記の理由により博士論文の全文を神戸大学学術成果リポジトリの利用によるインターネットでの公表をしないことについて、承認をお願いします。

記

論文題目：(英文)

(和訳)

※ 論文題目が英文の場合は和訳を記載すること

公表しない期間：博士の学位を授与された日から 2 年間

理 由：〇〇社では、発表後〇年間は、インターネット等による公表を認めていないため

(注)

- ・公表しない期間は、博士の学位を授与された日から原則 2 年間とする。
ただし、公表しない期間が確定している場合は、その期間とする。
- ・公表しない期間が 2 年を超えることが確定している場合は、根拠となる資料を添付する。
- ・公表延期申請期間を超えて、公表延期期間が延長となる場合は、期限 3 か月前までに 20 頁の「博士論文全体の公表延期申請書(継続)」を提出すること。
- ・公表延期理由が解消した際は速やかに 21 頁「博士論文全文の公表延期理由解消申請書」を提出すること。

※Online 版に掲載されない場合のみ提出が必要

様式 2

年 月 日

医学研究科長 殿

(学籍番号)
氏 名

博士論文全文の公表延期申請書（継続）

神戸大学学術成果リポジトリの利用によるインターネットでの公表の延期が承認されています博士論文について、下記理由により引き続き公表をしないことの承認をお願いします。

記

前回公表延期承認期限：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

公表延期申請期間：前回公表延期承認期限から 1 年間

学位及び専攻分野の名称：博士（医学）

学位授与年月日：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

学位記番号：博い第〇〇〇号

論文題目：(英文)

(和訳)

※ 論文題目が英文の場合は和訳を記載すること

理 由：〇〇社では、発表後〇年間は、インターネット等による公表を認めていないため

(注)

- ・公表延期申請期間は、前回公表延期承認期限から原則 1 年間とする。
ただし、公表延期となる期間が確定している場合はその期間を記入し、根拠となる資料を添付する。

※Online 版に掲載されない場合のみ提出が必要

様式 3

年 月 日

医学研究科長 殿

(学籍番号)

氏 名

博士論文全文の公表延期理由解消申請書

神戸大学学術成果リポジトリの利用によるインターネットでの公表の延期が承認されています博士論文について、公表延期の理由が解消されましたので公表をお願いします。

記

公表延期承認期限：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

学位及び専攻分野の名称：博士（医学）

学位授与年月日：〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

学位記番号：博い第〇〇〇号

論文題目：(英文)

(和訳)

※ 論文題目が英文の場合は和訳を記載すること

理 由：

※Online 版に掲載されない場合のみ提出が必要

様式 4

年 月 日

医学研究科長 殿

(学籍番号)

氏 名

博士論文全文の非公表申請書

学位が授与された場合、下記の理由により博士論文の全文を神戸大学学術成果リポジトリの利用によるインターネットでの公表ができないことについて、承認をお願いします。

記

論文題目：(英文)

(和訳)

※ 論文題目が英文の場合は和訳を記載

理 由：

(記入例)

○○○○な立体形状による表現を含むため。

○○○○な記載内容があり著作権保護のため。

○○○○な情報があり個人情報保護のため。

承 諾 書

※複数になる場合も全てに本文及び論文題目を記入する。

私どもは、下記の共著論文を〇〇 〇〇氏の学位論文として提出するこ

申請者名

と及びインターネット利用により公表することを承諾します。

なお、この論文内容を再び他の学位論文に使用することはありません。

記

論文題目

※ 題目が英文の場合は必ず和訳をつけ、英文は大文字・小文字の記載誤りに注意し、一字一句間違いが無いか確認する。

(英文) Angiotensin II type 1 receptor-mediated activation of *Ras* in cultured rat vascular smooth muscle cells

(和訳) 培養ラット血管平滑筋細胞におけるアンジオテンシンⅡタイプ1受容体を介した *Ras* の活性化

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

共同研究者

※共著者が遠隔地等にいる場合

学位申請が承諾書(Word)に論文題目を記入



共著者宛に承諾書(Word)をメール送付



共著者が承諾書を印刷



共著者が承諾書(紙)に自署



共著者が承諾書(紙)をカラーにてスキャンしPDFを作成



共著者が学位申請者に承諾書(PDF)をメール送付



学位申請者が承諾書(PDF)をカラー印刷



学位申請者が承諾書(紙)を提出

※ 共著者全員の氏名(手書き)と押印。

印鑑の無い外国人の場合は氏名(手書き)の横にサインが必要。

氏 名 〇〇 〇〇 印

氏 名 〇〇 〇〇 印

氏 名 〇〇 〇〇 印

氏 名 〇〇 〇〇 印

氏 名 〇〇 〇〇 印

(インターネットによる公表に差し支えがある場合は、別途自筆の理由書を添付してください。)

※学位申請者を含み共著者が4名以上の場合に提出

【理由書 記入例】

理由書

共著者の人数

申請者の氏名

この度、神戸大学大学院医学研究科大学院生〇〇 〇〇君の学位の申請にあたり、共著者が4名（筆頭著者を除く）に及ぶ理由を以下に述べます。

本研究の遂行に当たっては、複数の研究者がそれぞれの立場から研究に参画する必要があり、これらの研究者が発表論文の共著者となりました。

各研究者の役割は以下の通りです。

※①〇〇：共著者の氏名

② 〇〇：共著者の現在の身分（助教や大学院生や医師や講師等）

③ 二重線：共著者の論文作成時の役割を記入

④共著者全員について記入

〇〇 〇〇助教（神戸大学医学研究科※所属機関または研究科名）には、実験計画の立案、実験の遂行、結果の解析から論文作成にわたる全過程において指導を依頼しました。

〇〇 〇〇大学院学生（神戸大学医学研究科）は、動物モデル作成についての全般的指導を行いました。

〇〇 〇〇研究生（神戸大学医学研究科）は、動物モデル作成についての全般的指導を行いました。

〇〇 〇〇は、研究指導から討論に至る全般にわたり指導統括を行いました。

なお、共著者が多いですが、そのことが本論文の学位論文としての価値を損なうものではありません。

〇〇〇〇年 〇月〇〇日

神戸大学大学院医学研究科医科学専攻〇〇〇〇講座〇〇〇〇分野
教授

指導教員 氏名 〇〇 〇〇 印

押印

（氏名は手書きでなくてよい）

1. 大学院教務学生係へ指導教員から（依頼は分野長以外の指導教員からでも可能） 剽窃チェックソフトを利用したい旨のメールを
kobegsm-1@med.kobe-u.ac.jp へ送信。**学位申請者からの依頼は対応不可。**
2. 大学院教務学生係の担当者より剽窃チェックソフトのURL、
ID、パスワードを依頼教員へ送信。
3. 指導教員等が剽窃チェックソフトを使用してチェックし、確認報告書を作成する。
※報告書氏名・押印は分野長氏名・印（他の書類が押印する分野長印と異ならないよう注意）

医学研究科

氏名	〇〇 〇〇
学位論文の題目(英文)	〇〇 〇〇 〇〇
学位論文の題目(和訳)	〇〇 〇〇 〇〇
確認年月日 ・投稿前に必ず1回チェック。 ・学生一人につき2回までチェック可。	1回目 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日 2回目 〇〇〇〇年 〇〇月 〇〇日
指導教員名	〇〇 〇〇 印 ※分野の代表者名を記入し押印代表者はPC入力でも可能

学位記データ登録用カード(学位記作成用)

氏名(和文表記) Name in Japanese		● 氏名は漢字・英字とも履歴書と同じ表記になります。 例) 和文表記：神戸 太郎 英文表記：Kobe Taro 姓は全て大文字、名は頭文字のみ大文字 ● 共著者は主査・副査になれません。 ※ 通称名(旧姓)の使用を許可された方は「氏名表記申出書」の提出(所定の様式あり)も必要です。教務学生グループ(大学院)までお問い合わせください
氏名(英文表記) Name in English		
生年月日 Date of Birth(Y/M/D)		
本籍地(留学生は国籍) Nationality		
学籍番号 Student Number	M M	
指導教授 Professor in your department		
主査		
Name of the chief examiner		
副査1 Name of the examiner		
副査2 Name of the examiner		
論文題目(英文) Thesis title in English		
論文題目(和訳) Thesis title in Japanese		
掲載雑誌 Name of the Journal		
掲載年月 Publication year and month		
巻・号 a volume, an issue		

※掲載年月、巻・号が不明の場合は「未定」と記入してください。

※論文題目は、論文の表紙に掲載されているそのままを記入してください。
(斜体は斜体のまま、大文字、小文字、ピリオドやハイフン等記号そのままでも願います。)

The thesis title should be exactly same as written on your thesis's cover.
(Pay special attention to capital and small letters, italics, hyphens and symbols.)

※ここに入力されたデータで文部科学省、国会図書館に登録されます。
This data will be registered at the National Diet Library
This spelling of your name will be printed on the diploma.

令和8年7月29日

各教育研究分野代表者 殿

医科学専攻教務学生委員会

委員長 篠山 隆 司

令和8年度学位論文審査に係る研究発表会の日程について

令和8年度開催の研究発表会の日程について、下記のとおり実施予定ですのでお知らせします。

なお、学位申請者が、9月末に学位記を受け取るには7月21日(火)まで(※1)に、3月末に学位記を受け取るには1月20日(水)まで(※2)に学位申請を終える必要がありますので、念のため申し添えます。

※ 学位申請受付時間：【平日のみ】9:00～17:00(12:00～13:00は除く)

記

研究発表会日 (時間 15:00～20:00)		学位申請期間 (時間 平日9:00～17:00)	備考
令和8年 4月	4月21日(火) 4月22日(水)	2月24日(火) ～ 3月31日(火)	
5月	5月27日(水)	4月 1日(水) ～ 4月20日(月)	
6月	6月24日(水)	4月21日(火) ～ 5月20日(水)	
7月	7月22日(水)	5月21日(木) ～ 6月22日(月)	
8月	8月18日(火) 8月19日(水) 8月20日(木)	6月23日(火) ～ 7月21日(火)	※1
9月	9月24日(木)	7月22日(水) ～ 8月20日(木)	
10月	10月28日(水)	8月21日(金) ～ 9月30日(水)	
11月	11月25日(水)	10月 1日(木) ～ 10月20日(火)	
12月	12月23日(水)	10月21日(水) ～ 11月20日(金)	
令和9年 1月	1月26日(火) 1月27日(水) 1月28日(木)	11月24日(火) ～ 12月21日(月)	
2月	2月15日(月) 2月16日(火) 2月18日(木)	12月22日(火) ～ 1月20日(水)	* 2
3月	3月24日(水)	1月21日(木) ～ 2月22日(月)	
4月	4月20日(火) 4月21日(水)	2月24日(水) ～ 3月31日(水)	

※研究発表会の時間割決定通知は、**研究発表会の1週間前頃にメールにて所属分野へ通知する予定**です。準備の都合上、お電話でのお問い合わせには対応できかねますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

指導教員名 〇〇 〇〇

博士課程にかかる論文審査協力教員の推薦及び研究発表会
の日程調整について

このことについて、下記のとおり報告します。

記

学位申請者	〇〇 〇〇
-------	-------

審 査 協 力 教 員	主 査	〇〇 〇〇
	副 査	〇〇 〇〇
	副 査	〇〇 〇〇

- 参考
1. 「課程博士に係る学位論文審査に関する申合せ」及び「課程博士を経ない者の学位論文審査に関する申合せ」により学位論文審査委員は、学位申請の研究内容に関連する教員3名（指導教員を除く。）とする。なお、学位論文の共著者は審査委員になることはできない。また、准教授（医学研究科教授会の構成員となっている）は1名に限り含めることができる。
2. 論文審査協力教員に予め了解を得る。

研究発表会の日は別途、確認してください。3名の審査協力教員の日程を調整していただき、下記の第一希望と第二希望の日付けをご記入ください。なお、時間は15時～20時の間です。下記時間帯欄に3名の審査協力教員の都合のいい時間帯に○を記入してください。
（できる限り多くの○印を付けください。）
また、下記（注）をよく読んでおいてください。

第一希望日 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

※第二希望がない場合は記入しなくてよい
第二希望日 年 月 日

○	15:00～15:20		17:40～18:00		15:00～15:20		17:40～18:00
○	15:20～15:40		18:00～18:20				18:00～18:20
○	15:40～16:00		18:20～18:40				18:20～18:40
○	16:00～16:20		18:40～19:00				18:40～19:00
○	16:20～16:40		19:00～19:20				19:00～19:20
○	16:40～17:00		19:20～19:40				19:20～19:40
	17:00～17:20		19:40～20:00				19:40～20:00
	17:20～17:40						

- (注)
1. 希望する研究発表会の日に合わせて、学位申請を行ってください
2. 研究発表会は発表10分、3名の審査委員による最終試験・試問10分の計20分で行われます。
3. 教室は、原則としてB講義室又はA講義室を使用します。
4. 発表会当日、発表者はノートパソコン（パワーポイント等のデータが入ったもの）を持参してください。パソコンがマッキントシュの方は専用アダプタも持参してください。プロジェクター、ポインター等は学務課で用意します。
5. 研究発表会の進行については、主査等の先生方をお願いします。

＊ 早期修了について ＊

1. 要件

「医科学専攻における修業年限の特例に関する申合せ」を熟読してください。

対象者：在学期間3年または3年半での修了（早期修了）を目指す学生。

2. 提出物

通常の学位論文申請書類に加え、下記（1）～（3）を提出

（1）指導教員の推薦理由書

（2）学位論文 1部

（3）研究業績一覧

3. 提出期限：

2026年9月25日（前期）修了の場合：**2026年7月21日(火)**

2027年3月25日（後期）修了の場合：**2027年1月20日(水)**

4. 早期修了の必要様式は下記URLからダウンロードできます。

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/GRADN/GAKUI/ronbun-download.htm>

医学研究科長 殿

推薦教員 _____ 印

「博士課程の修業年限に関する特例」による推薦について

下記の者は、神戸大学大学院医学研究科規則第 29 条の定めによる研究業績に関し、特に優れた業績を上げ、博士課程修了者としての相応しい能力及び学識を有しているものと判断し、ここに推薦いたします。

記

専攻	医科学専攻
入学年月日	年 月 入学
学籍番号	M
氏名	
生年月日	年 月 日

1. 推薦理由

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. 被推薦者（筆頭著者）の論文が掲載されている（掲載予定を含む）一流の国際欧文雑誌
〔該当する方を○で囲むこと。〕
- イ. Science Citation Index の定義する Impact Factor が 4 以上の国際欧文雑誌
- ロ. 当該専門分野において、極めて高い評価を受けている国際欧文雑誌
3. 研究業績目録 〔次の項目を網羅した目録を作成し、あわせて提出すること。〕
- （1）著書名 （2）原著又は著書名 （3）発行雑誌名又は発行所 （4）巻・頁・発行年
4. 単位取得状況

.....

.....

研 究 業 績 一 覧

年 月 日

分野				氏 名		
番号	論文題目	著者名	発表雑誌名	巻	初頁～終頁	発行年
	研究業績一覧について ・掲載する業績には学位申請をする学位論文は含まない。 ・学位論文と関係のある分野以外も記載できる。 ・申請者が第1著書、又は第2著書の論文を対象とする。 ・著者は全員記載を基本とするが、多数の場合は、最初から5名までを記載する。 ・未発行のものは受理証明を添付する。 ・発行年が新しいものから記載する。 ・ない場合は、「なし」と記載し、提出する。					

* 遡り修了について *

学位申請期限を過ぎた場合でも単位修得退学をし、
遡って修了できる制度

対象者：在学期間4年以上の学生(休学期間含まず)

※遡り修了は早期修了対象者には適用されません

1. 事前に大学院教務学生係に連絡
2. 下記の期間に学位申請書類と退学願（単位修得退学）を提出

【2026年9月遡り修了】

申請期間：2026年7月22日～9月30日

※学位記の日付は2026年9月25日、
受け取りは2027年3月25日以降になります。

☆履歴書表記は下記参照☆

2026・9・30 神戸大学大学院医学研究科（博士課程）単位修得退学（分野名）

2026・9・25 神戸大学大学院医学研究科（博士課程）修了見込（分野名）

【2027年3月遡り修了】

申請期間：2027年1月21日～3月31日

※学位記の日付は2027年3月25日、
受け取りは2027年9月25日以降になります。

☆履歴書表記は下記参照☆

2027・3・31 神戸大学大学院医学研究科（博士課程）単位修得退学（分野名）

2027・3・25 神戸大学大学院医学研究科（博士課程）修了見込（分野名）

大学院修了の時期に係る申合せ

(平成22年3月 5日 医学研究科教授会制定)

医科学専攻における課程博士の学位授与に関し、次のとおり申し合わせる。

1. 在学中に博士論文を提出し退学（単位修得退学）した者の取扱い

- (1) 在学中に博士論文を提出し、その審査及び最終試験が終了する前に退学（単位修得退学）した者が、その審査及び最終試験に合格したときは、課程修了による学位を授与することができるものとする。
- (2) 博士論文の審査は、それを受理した日から1年以内に終了するものとする。

2. 学位授与日

上記1. による学位授与日は、3月期修了者にあつては3月25日とし、9月期修了者にあつては9月25日とする。

附 則

1. この申合せは、平成22年 3月 5日から施行する。
2. 「大学院修了の時期に係る申合せ」（昭和58年 研究科委員会制定）は廃止する。

遡り修了スケジュール

◇2026年9月遡り修了の場合

		2026年7月	2026年8月	2026年9月		2026年10月	2026年11月
				9/25	9/30		
通常修了	7月21日までに申請し、 8月20日までに研究発表会を終える	学位申請	教授会 → 研究発表会	教授会	修了		
遡り修了	7月22日～ 8月20日に申請		学位申請	教授会 → 研究発表会	修了	単位修得退学 → 授与決定	
	8月21日～ 9月30日に申請				修了	学位申請 → 単位修得退学 → 教授会 → 研究発表会 → 授与決定	

* 遡り修了の場合でも2026年 7 月 21 日までに「単位認定報告書」を提出してください。

◇2027年3月遡り修了の場合

		2027年1月	2027年2月	2027年3月		2027年4月	2027年5月
				3/25	3/31		
通常修了	1月20日までに申請し、 2月18日までに研究発表会を終える	学位申請	教授会 → 研究発表会	教授会	修了		
遡り修了	1月21日～ 2月22日に申請		学位申請	教授会 → 研究発表会	修了	単位修得退学 → 授与決定	
	2月24日～ 3月31日に申請				修了	学位申請 → 単位修得退学 → 教授会 → 研究発表会 → 授与決定	

* 遡り修了の場合でも2027年1月20日までに「単位認定報告書」を提出してください。

学位論文としての「eLife」等に掲載された論文の取り扱いについて

近年、「eLife」など新しい形式の査読プロセスを採用している学術誌が登場しています。これらのジャーナルに掲載された論文を博士学位論文として申請する際の取り扱いについて、以下のとおりお知らせいたします。

「eLife」や同様の査読プロセスを採るジャーナルでは、エディターによるプレビューを経てオンライン上に「Reviewed Preprint」として論文が掲載され、その後も査読者との複数回のやり取りにより内容が随時更新されていきます。これらのプロセスには、従来のような「Accept(掲載受理)」という明確な判断が存在せず、申請時点では論文内容が確定していない可能性があるため、査読中の段階では博士学位論文としての申請資格があるとは認められないこととなりました。

したがって、「eLife」等の形式で投稿された論文については、「最終版としての公表が確定された段階」になって初めて、博士学位論文として申請いただくことが可能であるという方針が確認されております。

本取り扱いについて、該当する投稿を予定している方は十分にご留意ください。